縁あって三重に住んでます

No.1

旅館経営

県外で見識を広げて生まれ育った老舗旅館の女将に

昭和4年に建てられた木造旅館。この廊下を走り回って育ちました

岡田 麻沙さん(38)

祖母の経営する伊勢の旅館で育ち、大阪の短大に進学。伊勢に戻り外宮近くでカフェ＆バーを営みながら旅館を手伝う。2014年末に店を閉め、女将に就任。伊勢大好き、2児のママ。

生まれ 伊勢 ▶▶▶ 学校 大阪 ▶▶▶ 仕事 伊勢

いったん地元を出て見識を広めるため大阪へ

実家の旅館を継がず、伊勢を離れた時期があるんですね？

「高校卒業後4年間は好きなことをしなさい、という父の言葉もあって、大阪に進学。見識を広げてきなさい、ということでしょうね。卒業後も大阪に残りしばらく働きながら経験を積んでUターン。そこでいったん若女将として旅館で働き始めるんですが、若い目線で改善したい私と、伝統を守りたい大女将と何度も衝突。その時は、自信もあったので近所に自分のカフェを開いちゃいました(笑)」

伊勢市駅より徒歩1分、外宮まで徒歩5分という便利な立地です

好調なカフェ経営から急遽、旅館の代表に

遷宮ブームもあってその時期カフェも忙しかったのでは？

「そうですね。この地元、伊勢で仲間と店が持てたのはいい経験でした。ただ旅館を仕切っていた父が他界し、急遽旅館を継ぐことになり、しばらくはカフェと旅館の二足のわらじ状態。悩んだ末に店を閉め、旅館に戻り女将に専念することにしました。思えば、高校を出てからここに戻るまでの経験がしっかり今の女将業に役立っています」

"伊勢のちっちゃな大女将"として慕われる大女将の岡田志づさんは92歳

ぜひ来て、感じてほしいおもてなしの根付く町

伊勢という地域や、ここで働く岡田さんの今後の目標は？

「伊勢は日本一おもてなしの精神が根付いてる町だと思いますよ。観光でも、移住でも来てみれば実感してもらえるはずです。そんな伊勢を楽しんでもらえるよう、観光に役立つサービスも用意しています。伊勢を満喫した後は、ここでくつろげる。そんなアットホームな旅館をみんなで目指していきたいです！」

最近は外国からの宿泊客も増加。英語で接客することもあります

仲居さんには同級生も。20年来の仲なのでチームワークはばっちり！

地元のふとん屋さんで作ってもらった大女将とお揃いの法被

岡田さんの伊勢ライフ

空いた時間に海釣りにも行きます

大きいキスが釣れると持ち帰って夕食にします

小さな魚は海へ返しています

用事があり休んだ日や、朝食のお客様が少ない時は、趣味の海釣りでリフレッシュ！ キスやアジ、メバル、クロダイなどが釣れる。鳥羽の小浜漁港に行くほか、志摩まで足を延ばすこともあります。

仕事の合間を縫って娘・息子とお出かけ♪

岩から五十鈴川にダイブ！ 宮川の「カランコロン音楽祭」に家族で仲良く参加♪

14歳と11歳の子を女手一つで育てています。普段、家にいなくて寂しい思いをさせているので、時間があるときはできるだけ一緒に出かけたいですね。今年の夏はお祭りと五十鈴川に行きました。

同級生と集まっても仕事の話が尽きません

外国に住んでいる友人が帰郷して同級生が集合

伊勢市付近で暮らしている昔からの友人は家業を継いだ人も多く、いろいろな悩みを共有できるので、よく集まります。今でも同級生とつながっていられるのは幸せですね！

旅館から徒歩7分！外宮で朔日参り

神馬にお目にかかれるのは、31日を外した1の付く日のみ

毎月1日はお参りに出かけるようにしています。外宮で「いつも見守ってくださってありがとうございます」とお礼をし、別宮の多賀宮で商売繁盛を祈願。縁起の良い「神馬」に会えたこともあります。

お財布事情

父が所有していた家に住んでいるので住宅費はゼロ。これは改めて思うと助かってますね。故郷に住む特権でしょうか。食べ盛りの子どもが2人いるので、旅館での賄いの余りを持って帰ったりと節約しています。

時間を作って名古屋へも遊びに行きます

名古屋にも行きますが、特に大須商店街の雰囲気が好きで、ぶらりと買い物に行くこともあります。

●名古屋へのアクセス／近鉄・JR参宮線の伊勢市駅から近鉄特急で名古屋まで約1時間半

たとえば、こんな 岡田さんの1週間

休前日はほぼ満室！ ほとんど休みはないけどスタッフと協力しながら、旅館を切り盛りしています。

Monday 仕事

「日の出旅館」の朝食時間は7時から8時半。蔵元から仕入れた味噌で作る味噌汁や小鉢、だし巻き玉子、魚料理など調理師の資格を持つ岡田さんが、心を込めて作ります。

Tuesday 仕事

朝食の準備や片付けが落ち着いた昼頃、近くのスーパーまで次の日に朝食で使う食材の仕入れに出かけます。

Wednesday 仕事

平日の夜など時間が空いたときは、カフェで一緒に働いていたスタッフに気まぐれで連絡。都合の合う人だけで集まって、近況報告がてら飲みに行くこともあります。

Thursday 仕事

旅館では夕食を出していないので、おすすめの店を紹介しています。挨拶を兼ねて、近隣の飲食店へ食事に行くことも。

Friday 仕事

お客様が使う前に浴室の清掃をしたり、タオルが揃っているかなどをチェック。創業当時からの壁面のタイルや鏡はそのままに、最新の給湯設備を導入しました。

Saturday 仕事

土曜は一番お客様が多い日。スタッフ用の賄いは毎日作ります。ペペロンチーノやドリアやカレーうどんなどバリエーションも豊富。

Sunday 仕事

お客様に部屋でゆっくりくつろいでもらえるよう、最近、布団を新しいものに替えました。高齢の方に向けた、バリアフリーのユニバーサルデザインルームも1部屋ご用意。

取材メモ

式年遷宮を機に参道の再開発が進んだ外宮付近は、国内外問わず観光客が急増しています。取材中、岡田さんが外国人の宿泊客に英語で応対する場面も見られました。サービス面で新しい時代に対応しつつ、祖母の代からの旅館を守っている岡田さんがステキだな…と感じました。